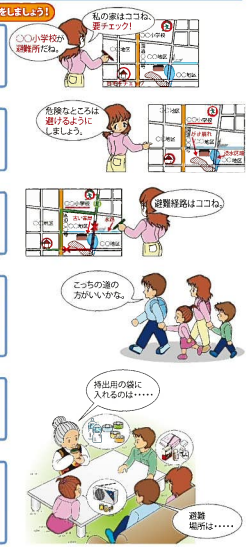
光市島田川 洪水ハザードマップ

山口県は、平成30年3月までに実施した調査を基に、平成31年1月、島田川流域において「想定し得る最大規模の降雨（2日間の総雨量546mm）で想定される浸水区域」等を公表しました。

この公表に基づき、光市は、島田川流域における水害リスクと水害時の避難に関する情報を住民等に提供し、主に水害時の住民避難に活用していただくため、ハザードマップを作成しました。

令和2年2月発行　光市建設部監理課　電話：（0833）72-1534

■ハザードマップの使い方 確認したらチェックをしましょう！



□自宅の位置や避難場所の確認
自宅の位置をはじめ、公共施設や学校などの避難場所や道路の状況などを確認しましょう。

↓

危険となる場所の確認
水路や橋、土砂災害警戒区域など大雨のときに危険となる場所を確認しましょう。

↓

□避難経路の設定
大雨のときに危険となる場所を避けて、避難経路を設定しましょう。

↓

□避難経路の安全確認
家族や地域で話し合いながら、設定した避難経路を実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所が見つかったときは、経路を見直しましょう。

↓

□非常持出品の準備
家族構成に合わせた必要な物資を確認し、袋に入れていつでも持ち出せるようにしましょう。

↓

「防災カード」の記入
普段から避難のタイミングや避難場所を確認し、わが家の避難計画を作成しましょう。また、「防災カード」に災害時の避難場所や集合場所、家族等の連絡先、連絡方法を記入しておきましょう。

災害状況に応じた避難行動をとろう

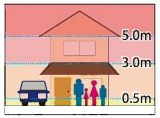
□ハザードマップが配られたら
自分や家族の居場所を確認し、大雨時にどうすれば良いかを決めておきましょう

■避難の確認

家屋倒壊等氾濫想定区域

浸水想定区域内
- 5.0m～ 2階の屋根以上が浸水する程度
- 3.0～5.0m 2階の軒下まで浸水する程度
- 0.5～3.0m 2階の床下まで浸水する程度
- ～0.5m 大人の膝までつかる程度

●浸水深と家屋の階数の目安



ハザードマップを見て、自宅やよく行く場所の浸水状況を確認しましょう

速やかに避難する
- 500mを歩く目安の時間
- 成人男性 約 6分
- 成人女性 約 8分
- 高齢者 約 10分

安全な避難が難しくなったとき
- 周囲が浸水している
- 風雨が強まる
- 夜間

浸水しない安全な場所
- 緊急避難場所
- 避難所
- 高台
- 空地　など

近くの高い場所
想定される浸水深をもとに、事前に安全な場所を確認しておきましょう。
- 近くの高い建物
- 近くの高台

※浸水深が0.5m未満と想定されている地域では自宅の2階など、安全が確保できる場所に待避

浸水想定区域外【浸水が広がる可能性があります】	積極的な情報収集	危険を感じたら2階等の安全な場所に避難
土砂災害警戒区域内【崖崩れや土石流の危険があります】	速やかに避難する	土砂災害ハザードマップをよく見て、避難先を確認しておきましょう

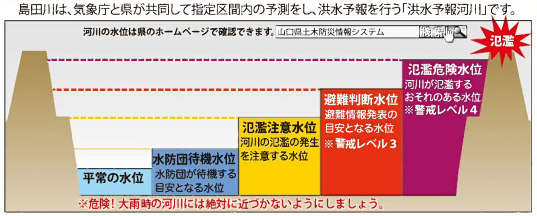
□台風が近づいたり、大雨の予報が出たら
気象情報や市からの情報を確認し、早めに避難をしましょう

■市が出す避難情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5 全員避難	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報（市が発令）
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難をしましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急）（市が発令）
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始（市が発令）

※各種の情報は、警戒レベルの順番に発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

■河川の水位状況
島田川は、気象庁と県が共同して指定区間内の予測をし、洪水予報を行う「洪水予報河川」です。



□警戒レベル3、警戒レベル4が出たら
安全な場所（開設中の避難所等）へ落ちついて避難しましょう

■避難のポイント

●避難する前に確認を
- 火元を点検しましょう。
- 電気のブレーカーを切りましょう。

●車での移動は控えましょう
- 浸水しているところでは、車が水に浸かり動かなくなる（マフラーやエンジンルームに水が入り故障する）ことがあります。

↓ できる限り歩いて避難しましょう。

●避難の呼びかけに注意
- 危険が迫ったときには、避難の呼びかけがあります。

↓ 速やかに避難しましょう。

●動きやすい服装、複数人で避難を
- 避難するときは、スニーカー等動きやすい格好で避難しましょう。
- 2人以上での行動を心がけましょう。

●足元に注意
- 水面下では、側溝に気づかないことがあります。

↓ 長い棒などで、安全確認をしながら避難しましょう。
※危険を感じたら安全な場所で待機

●高齢の方や障害のある方には
- 背負ったり、ひじや肩につかまってもらい誘導しましょう。

■非常持出品の準備
家族構成に合わせた必要な物資を確認し、袋に入れていつでも持ち出せるように準備しましょう。

家族や地域等で連絡手段を決めておこう

■防災カード（家族で決めておくこと）

●最寄りの避難場所はどこですか？

避難場所	

●家族の集合場所はどこですか？

集合場所	

●家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

氏　名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先・連絡方法（携帯電話・学校・勤め先など）

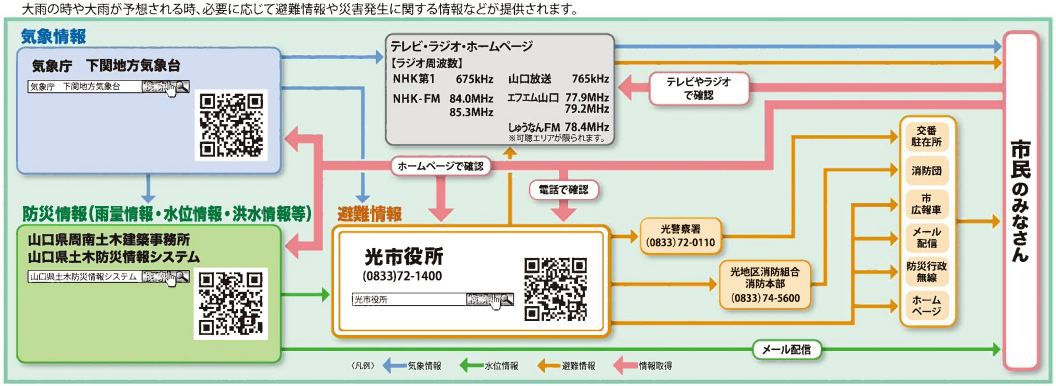
■災害用伝言ダイヤル171
災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。使用方法を知っておきましょう。
（※サービス開始は、テレビ、ラジオなどで通知されます。）

利用方法
- 伝言を録音する ▶ 局番なしで 171 ▶ 1（「1」を選択） ▶ 被災した家の電話番号を市外局番からプッシュ ▶ 伝言を入れる（30秒以内）
- 伝言を再生する ▶ 局番なしで 171 ▶ 音声ガイダンスにしたがって・・・ ▶ 2（「2」を選択） ▶ 被災した家の電話番号を市外局番からプッシュ ▶ 伝言を聞く

※各携帯電話会社も災害時に「災害用伝言板」のサービスを提供しています。

情報を入手しよう

■情報を集めよう
大雨の時や大雨が予想される時、必要に応じて避難情報や災害発生に関する情報などが提供されます。



■発信する防災情報
光市では、広報車の巡回ほか、様々な方法で防災情報を発信しています。

放送で発信！
防災行政無線で確認
防災情報等を一斉にお知らせするための放送設備で、無線装置を使って市内各地に設置された屋外拡声子局等からサイレンや音声を放送します。

屋外拡声子局

●避難情報発令時には、サイレンを併用して放送します。
※サイレンパターン：15秒吹鳴×1回
※サイレンパターンは放送する内容により異なります。
※光市ホームページで試聴することが出来ます。

防災行政無線や広報車のアナウンスが聞き取りにくい場合には

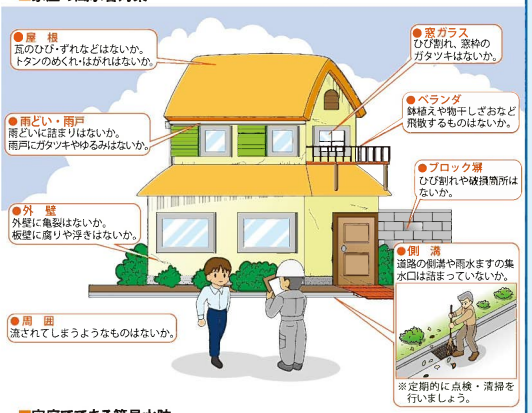
電話で発信！
防災広報ダイヤルで確認
防災行政無線の放送内容を音声で確認できます。
※防災広報の専用電話です。その他の広報や情報提供には使用しています。
(0833)72-1410

メールで発信！
光市メール配信サービスで確認
広報車や防災行政無線の広報内容のほか、防災等に関する情報を携帯電話等から文字で直接確認できます。
登録用アドレス
hikari@xpressmail.jp

登録方法
①登録用アドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信します。
②登録用メールが返信されます。返信メールに記載されたアドレス（URL）へ、インターネット接続してください。
③登録画面が表示されたら、配信を希望する情報にチェックを入れ、お住まいの地域を選択して「次へ」を押してください。
④確認画面が表示されますので、内容を確認し、「登録」を押してください。
登録完了！

日頃から風水害に備えよう

■家屋の風水害対策



■家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（なければ水のう）を設置することで、浸水防止が図れます。

簡易水のうの作り方
二重にしたゴミ袋に水を入れる。
ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れると固定しやすく強度も上がる。

簡易水防①
簡易水のう＋止水板
簡易水のうを作り、段ボールに入れて固定し、止水板を固定する。

簡易水防②
プランター＋ビニールシート
土を入れたプランターをレジャーシートで巻き、止水板を固定する。